

## 平成12年度 医学情報教育研究委員会 活動報告

本委員会（委員長：内山隆久、日本大学）は、12年5月、6月、9月、11月、13年1月、3月の6回開催した。12年度は、マルチメディアを活用した授業内容について、次のような授業を設定することにした。

「臨床講義をマルチメディアで補完する授業」で、委員会で作成したアニメーション画像と問題形式の回答をCD-ROMを用いて理解度の実験をすることとした。

「ネットワークで他大学と症例を出し合い、リアルタイムで学生の理解度を公表する授業」では、実験を試みたが通信回線の問題があり、再度13年度に実験する予定としている。

「シミュレーションを活用した授業」では、不整脈の機序を実物心電図とアニメーション画像を併用して理解度を高める授業

「電子教材の共有化による授業」では、日常診療で集めた膨大なX線画像を電子化し、問題形式により学生の理解を高める授業で、解説、問題を繰り返しながら学習できる授業を計画し、13年度に他大学とのネットワーク合同授業の中で実験することとしている。